

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	山口市ピッコロ療育センター(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 27日		～ 令和7年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 27日		～ 令和7年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができている。	・ノートを使い、家庭や園での様子を把握して指導に生かしている。また、ピッコロでの様子を分かりやすく記すことで、家庭内でも共有できるようにしている。 ・指導のなかでも活動の狙いや支援の方向性等を意識して伝えるようにしている。	・ノートを上手く活用するとともに、こどもや保護者との対話も引き続き大切にし、現状や今後の支援等についての共通理解が深まるようにしていく。
2	・活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	・活動にバリエーションをつけて設定している。 ・好きなことを取り入れることで、様々な活動に取り組めるよう支援している。	・今後も教材研究を行い、活動の種類を増やしていく。
3	・共感的に支援している。	・こどもの話をじっくり聞いたうえで、こちらからも提案するようにしている。 ・こどもの目線になって物事を考えるように意識している。	・今後もこどもの行動の背景を探り、解決策を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がある。	・地域の小学校に通っている子どもが多いため、施設としてそのような機会は設定していない。	・今後保護者のニーズを確認し、必要に応じて機会の設定も検討していく。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	・保護者向けの行事を行ったり、指導のなかできょうだいも一緒に活動したりはしているが、父母の会や保護者会は現在なく、きょうだい同士で交流する機会も設定していない。	・コドモンも活用しながら、保護者向けの行事を行っていることをしっかりと周知していく。 ・保護者のニーズを確認し、必要に応じて方法等も含めて検討する。
3	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている。	・個別では非常時の避難方法や災害の恐ろしさ等を伝えてはいるが、行事で集まる機会が無いと、実践形式の避難訓練はできていない。	・個別指導で行ったことを、保護者にしっかりと伝える。 ・実践形式の避難訓練を行う期間を、一定期間設定する。その期間に来所されなかった方については、施設として避難訓練を行っているということを保護者に伝える。